

平成24年(2012年)3月期 第3四半期決算



現況と今後の展望(業績説明会資料)



(フエントヒルズ モール店 : アメリカ ロサンゼルス)

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東証・大証 市場第一部

Code Number: 4680

2012年2月9日

2012年3月期 第3四半期 連結決算の概要



		単位	2011年3月期 3Q (2010.4~2010.12) 前3Q累計期間実績	2012年3月期 3Q (2011.4~2011.12) 当3Q累計期間実績	増減
店舗	期末店舗数	店舗数	107	110	+3
	期中店舗稼働月数	月数	954	984	+30

(単位未満は切り捨て表示)

損益 (PL)	ボウリング	億円	221	234	+12
	アミューズメント	億円	263	276	+13
	カラオケ	億円	49	61	+11
	スポッチャ	億円	62	66	+4
	その他	億円	19	23	+3
	総売上	億円	616	662	+45
	営業利益	億円	74	114	+39
	経常利益	億円	39	79	+39
	売上高経常利益率	%	6.5%	12.0%	+5.6%
	四半期純利益	億円	129	24	+153

四半期純利益の計算式：

【前3Q累計期間】

経常利益39.7億円 - 特別損失252.5億円 + 法人税等による影響83.7億円 = 四半期純利益 129.0億円

特別損失の内訳・・・資産除去債務費用31.7億円、出店計画変更損失218.0億円、その他アミューズメント基板の除却等2.8億円

【当3Q累計期間】

経常利益79.6億円 - セール・アンド・リースバックによる損失21.2億円 - その他アミューズメント基板の除却等2.7億円 - 法人税等による影響30.9億円 = 四半期純利益24.7億円

【当期のセール・アンド・リースバック実施店舗】

「町田店」、「板橋店」、「千日前店」、「川崎大師店」(第4四半期以降もセール・アンド・リースバックを計画しております)。

2012年3月期 第3四半期連結決算の分析



(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

		2012年3月期3Q (2011.4~2011.12) 計画	2012年3月期3Q (2011.4~2011.12) 実績	差額	備考	
損益	ポウリング	236	234	1	1【経常利益の計画差の要因】 計画額 74億円 ・ 売上の減少 2億円 ・ リース費用の減少 +3億円 ・ A M景品費の減少 +3億円 ・ 広告宣伝費の増加 1億円 ・ その他 +2億円 実績額 79億円 2【法人税等の計画差の内訳】 ・ 第3四半期の増益による影響 +3億円 ・ 法人税率の変更による影響 +6億円	
	アミューズメント	278	276	1		
	カラオケ	60	61	+0		
	スポッチャ	65	66	+1		
	その他	23	23	0		
	総売上	664	662	2		
	売上原価	539	535	4		
	売上総利益	124	127	+2		
	販売費及び一般管理費	13	12	0		
	営業利益	111	114	+2		
	営業外損益	36	34	+2		
	経常利益	74	79	+4		1
	売上高経常利益率	11.3%	12.0%	+0.8%		
	特別損益	26	23	+2		
税引前四半期純利益	47	55	+7			
法人税等	21	30	+9	2		
四半期純利益	26	24	2			

2012年3月期 連結四半期 実績と計画



2012年3月期 (2011年4月～2012年3月)

(単位: 億円 単位未満切り捨て表示)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期			第4四半期	下期	通期
	実績	実績	実績	計画	実績	差額	計画	計画	計画
総売上	222	237	459	204	202	2	230	435	895
売上原価	175	182	357	182	177	4	177	359	717
売上総利益	46	55	102	22	24	+2	53	75	178
販管費	3	4	8	4	4	0	4	9	18
営業利益	43	50	93	17	20	+2	48	66	160
営業外損益	11	13	24	12	10	+2	13	25	50
経常利益	31	37	69	5	10	+4	35	40	110
売上高経常利益率	14.3%	15.9%	15.1%	2.6%	5.0%	+2.4%	15.3%	9.3%	12.3%
特別損益	0	25	25	1	1	+2	23	24	50
税引前当期純利益	31	11	43	4	12	+7	12	16	60
法人税等	13	5	19	1	11	+9	5	7	27
当期(四半期)純利益	18	6	24	2	0	2	6	8	33
既存店売上高前年比(国内)	+7.2%	+4.2%	+5.7%	2.5%	4.0%	1.5%	1.9%	2.2%	+1.7%

(注) 「下期」及び「通期」の計画欄には、第3四半期の実績を加味せずに、2011年11月10日に発表した計画をそのまま記載しております。

既存店舗のセール・アンド・リースバックが成立した際には、業績に与える影響を含めて随時開示する予定です。

2012年3月期 連結計画 出店と損益



2011年11月10日の発表資料より変更してありません。

(単位未満は切り捨て表示)

		単 位	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画	増 減
店 舗	新規出店数	店	4	1	3
	総店舗数(期末)	店	109	110	+1
	総店舗稼働月数	月数	1,275	1,314	+39
損 益	ボウリング	億円	310	325	+14
	アミューズメント	億円	352	368	+15
	カラオケ	億円	67	81	+13
	スポッチャ	億円	87	90	+2
	その他	億円	26	31	+4
	総売上	億円	843	895	+51
	営業利益	億円	114	160	+45
	経常利益	億円	69	110	+40
	売上高経常利益率	%	8.2%	12.3%	+4.1%
	当期純利益	億円	126	33	+159

2012年3月期の新規出店・・・2011年9月17日オープン『モレラ岐阜店』（岐阜県本巣市三橋 モレラ岐阜内）

当期純利益の計算式：

【2011年3月期実績】

経常利益69.2億円 - 特別損失272.8億円 + 法人税等による影響76.7億円 = 当期純利益 126.7億円

特別損失の内訳・・・過年度の資産除去債務費用の全額（31.7億円）、出店形態の変更を含む減損損失（232.4億円）、災害損失（3.6億円）、その他アミューズ基板の除却等（4.9億円）

【2012年3月期計画】

経常利益110.0億円 - セル・アンド・リ・ス・ックによる損失46.0億円 - その他アミューズ基板の除却等4.0億円 - 法人税等による影響27.0億円 = 当期純利益33.0億円

2012年3月期 連結計画 キャッシュ・フロー



2011年11月10日の発表資料より変更してありません。

(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画
資金	当期純利益	億円	126	33
	法人税等調整額	億円	76	27
	配当金額	億円	17	20
	増資(新株予約権付社債による株式転換を含む)	億円	81	
	減価償却費(リース取引除く)	億円	93	75
	簡易キャッシュフロー	億円	45	115
	設備投資額	億円	61	20
	既存店舗の売却に伴う資金の増加	億円		70
	簡易フリーキャッシュフロー	億円	106	165
	現預金残高	億円	227	224
	有利子負債残高	億円	1,361	1,193
	実質有利子負債残高	億円	1,133	969

2012年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約 2億円 …… 梅田店(2011年3月にオープンしましたが、支払いは2011年4月となりました。)
 - ・約 8億円 …… 千日前店(大阪市中央区難波:2012年4月下旬オープン予定)
 - ・約10億円 …… 既存店舗(一部の改装やアミューズメント基板(キット)購入他)
- 町田店を含めたセール・アンド・リースバックによるものです。

店舗数・損益状況と既存店売上前年比の推移(連結)



2011年11月10日の発表資料より変更してありません。

店舗・損益の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 計画
期中出店数	11	15	11	13	11	4	1
期中退店数	0	0	1	2	0	0	0
期末店舗数	58	73	83	94	105	109	110

(億円未満は切り捨て表示)

売上高	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	843億円	895億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	114億円	160億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	69億円	110億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	8.2%	12.3%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	126億円	33億円

(注) 2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載しております(2007年3月期以降は連結額を記載)。

既存店売上前年比の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 計画
ボウリング	+19.4%	+7.1%	+1.4%	6.5%	4.0%	3.7%	+0.5%
アミューズメント	+11.5%	+0.1%	6.8%	10.8%	9.8%	+0.0%	+0.1%
カラオケ	4.5%	+4.0%	1.2%	7.3%	13.1%	+3.4%	+14.1%
スポッチャ	-	-	16.1%	9.8%	9.2%	4.5%	+2.9%
その他	11.3%	9.2%	+13.2%	+11.4%	3.9%	14.5%	+1.5%
総売上	+11.6%	+2.0%	4.0%	8.5%	7.7%	2.2%	+1.7%

(注) 既存店売上前年比推移には、米国内の1店舗は含まれておりません。

既存ローンの借り換えと資産等の推移 (連結)



既存ローンの借り換え

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 予定	2013年3月期 予定	2014年3月期 予定
期中借り換え額	約110億円	約128億円	約159億円	約308億円	約105億円	約227億円
進捗状況	全額借り換え済み	全額借り換え済み	全額借り換え済み	(注) 参照	既存借入先を中心に交渉予定	既存借入先を中心に交渉予定

(注) 上記の借り換え額は、連結子会社を含む当社グループ全体の金額です。

2012年3月期の借り換え額(約308億円)の進捗状況 約142億円(借り換え完了)、約48億円(セール・アンド・リースバックの実行による減少)、約81億円(金融機関と合意済み)。なお2013年3月期の借り換え額のうち約37億円は、2012年3月期に前倒して借り換えを完了しております。

2014年3月期の借り換え額(約227億円)には、メインバンクである三井住友銀行が組成し、その大部分の融資を実行したシンジケート・ローン(約162億円)が含まれております。

資産等の推移

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画
総資産	1,663億円	1,763億円	2,160億円	2,512億円	2,521億円	2,392億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	790億円	803億円
株主資本比率	37.2%	39.5%	33.5%	34.1%	31.3%	33.6%
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	224億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,193億円
実質有利子負債残高	651億円	755億円	963億円	1,080億円	1,133億円	969億円

リース債務	258億円	268億円	271億円	259億円	284億円	270億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円	

(注) 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により、有利子負債に計上されます。

2012年3月期計画には、開示済みのものを除き、現在計画中及び想定される既存店舗のセール・アンド・リースバックによる有利子負債の減少額を織り込んでおりません。これらが成立した際には、更に有利子負債の減少が見込まれます。

2012年3月期計画の保証債務は、千日前店のセール・アンド・リースバックにより無くなりました。

2012年3月期の有利子負債残高は、当第3四半期までの実績に基づき算出しております。第4四半期以降にセール・アンド・リースバックを実施した際には、更なる有利子負債残高の減少が見込まれます。

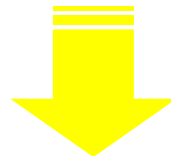
BS: 有利子負債の削減

セール・アンド・リースバックの活用

既存の店舗資産（土地・建物）を売却と同時に賃借へ切り替える方法を活用

有利子負債返済額	年間	200億円前後
約定返済額 （減価償却費相当）	年間	100億円前後

合計300億円前後の年間返済



概ね向こう4年(2016年3月末)までに実質無借金体制へ

売却損が発生した場合

- ・ 会計上の特別損失発生により当期純利益が減少
（税効果の影響により、キャッシュ・フローではプラス面も）
- ・ 借入金返済時に、手元資金の流出を伴う可能性あり

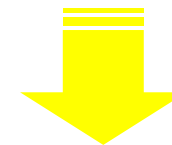
PL: 経常利益200億円へ向けて

2016年3月期までに経常利益200億円体制

ファイナンスリース料が自動的に軽減

当社ではボウリングレーン、アミューズメント機器、カラオケ設備等をリース契約しております。これらのリース期間は、約3年（ボウリングのみ7年）で、期間経過後の再リース料は、約12分の1に軽減されます。その結果、4年目(37ヵ月目)以降のリース料は、追加投資を考慮しても大きく減少し、スタジアム店舗で約1億円、スタンダード店舗で約9千万円の年間コストが自動的に低減されます。

各店舗の売上が現状と同水準で推移
繁華街店舗を含めた新店の収益

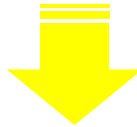


2016年3月期までに早期の経常利益200億円体制を目指す

ボウリング

みんなでスコアランキング

『学生グループ』、『親子』、『カップル』、『シニア』の
4つのカテゴリーでスコアをランキング
(月間店舗別ランキグ・月間全店ランキグ)
ランキング上位者や各種イベント達成



様々な特典や景品をプレゼント!

2~3人グループにもストラップをプレゼント

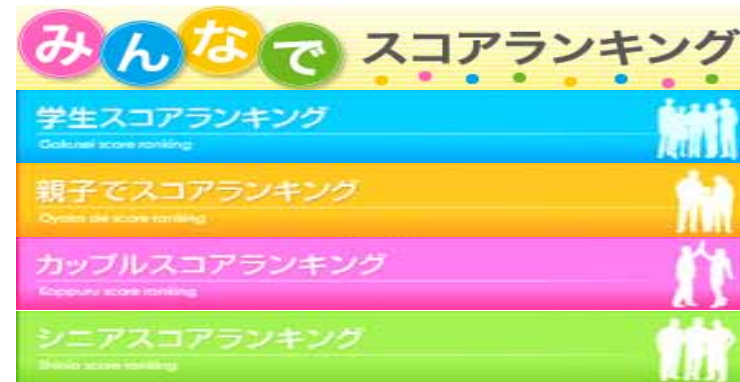
年齢・性別等により決められたスコア達成によりプレゼント

ROUND1 JAPANCUP BOWLING 2012

フリータイム予選会を開始(2012年2月よりスタート)
本大会は日米韓のトッププロが集結

ネットワーク対戦ボウリング

カードホルダー数 300万人を突破
(2012年1月末現在:約317万人)



ROUND1 JAPANCUP BOWLING 2012



既存店舗対策



アミューズメント

便利な新サービス「メッチャ」

席についたままで、メダルの「預け入れ」や「払い出し」が可能
ラウンドワンだけの新サービス

「ONE PIECE」とのコラボ

好評につき継続



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

メダルスPECIALバック
ボウリング・カラオケ・スポッチャのご利用後にメダルを
フロントで借りるとONE PIECEグッズをプレゼント

話題の新型機種を導入予定

- Star Horse3 (セガ)
全100店舗へ導入予定 (概ね導入済み)
- ヴィーナス ファウンテン (コナミ)
約6割の店舗に導入予定
- サウンド ボルテックス ブース (コナミ)
全店導入済み

カラオケ

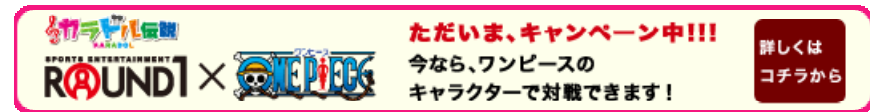
「キラ キラ カラドル伝説」

ラウボケへ入会すれば無料で利用可能



「ONE PIECE」とのコラボ

条件クリアでキラ キラ カラドル伝説のキャラクターとして使用可能
大会で入賞、ポイントで交換、指定日に店舗でログイン、指定された
ミッションの達成等 (全9キャラクター56種類)



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

人気機器を全店舗に設置

- 人気機器のCROSSO (エクシング)、LIVE DAM (第一興商) の
どちらかを全カラオケルームの3分の2に設置済み

既存店舗対策



スポッチャ

無料送迎バス

2012年2月末 新たに新潟店・熊本店にも送迎バス導入へ

【2012年3月以降の導入店舗】

上尾店	朝霞店	宇都宮店	習志野店	入間店
堺中央環状店	岡山妹尾店	新潟店	熊本店	



新アイテムの導入を検討

稼働の低いアイテムや空きスペースへ新規アイテムの導入を検討
数店舗でテスト導入

広告宣伝

「くいだおれ太郎」とのタイアップ

『大阪名物くいだおれ』の看板キャラがラウンドワンを応援！
販促活動や様々な企画にも登場予定



「NMB48」とのコラボ

テレビコマーシャル（新バージョン）をオンエア予定

今後の出店



2012年3月期オープン店舗

オープン日	店舗名	店舗タイプ	ロケーション
2011年 9月17日	モレラ岐阜店	スタンダード	大型ショッピングモール『モレラ岐阜』内

『モレラ岐阜』（2006年4月オープン・当時日本最大級）敷地面積約185,000m²・延床面積115,800m²・店舗数約240店舗の巨大ショッピングモール

2012年4月以降の計画店舗

日本

オープン予定時期	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
2012年 4月下旬	ダイバーシティ東京 プラザ店 (東京都江東区青海：お台場フジテレビ本社ビル前)	スタジアム(スポッチャ含む)・ロードサイド (大型商業施設『ダイバーシティ東京 プラザ』内)
2012年 4月下旬	千日前店 (大阪市中央区難波：千日前通り沿い)	スタジアム(スポッチャ含む)・繁華街
2012年 12月下旬	池袋店 (東京都豊島区東池袋：サンシャイン60通り沿い)	スタンダード・繁華街

アメリカ

オープン予定時期	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
2012年 夏頃	モレノ バレー店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2012年 冬頃	米国3号店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2013年 春頃	米国4号店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)

【注意】

- ・オープン時期及び店舗名は、諸事情により変更される場合があります。
- ・2012年4月以降の計画店舗については、予告なしに出店を中止・変更する可能性があります。
- ・上記以外への新規出店は原則として凍結して財務体質の強化を図りますが、デベロッパー側にて内装を含めた初期投資額の大部分を負担頂ける場合は、首都圏の大型ショッピングモール内や十分な収益が見込める物件に限り出店する可能性があります。

アメリカのボウリング市場とラウンドワンの展開



日本とアメリカのボウリング市場

	日本	アメリカ
市場規模	約820億円	約70億ドル(約5,600億円; US\$=¥80)
センター数	約900センター (ほぼ民営のみ)	約5,350センター (民営:約4,800センター/その他(軍・教会等:約550センター)
レーン数	約25,000レーン	約111,000レーン
参加人口 (1年に1回以上ボウリングをする人口)	約1,780万人	約7,100万人

【アメリカのボウリング市場の現況】

(『レジャー白書2011』を参考に当社による推定値を記載)

大手2社が400店舗、準大手が50店舗程度で、その他のほとんどは家族経営である。

不況時に強く、ここ数年間は安定成長を継続している。

古いタイプのボウリング場は年々閉鎖され、ボウリング以外のアイテム(ゴーカート、アーケードゲーム、ミニゴルフ等)で複合化された店舗が年間20~50店舗建設されている。

他のレジャー(ゴルフ、釣り、テニス、ビリヤード、サイクリング、ローラースケート、アイススケート、マラソン)に比べて参加率が非常に高い。

身近な社交の場として、平均所得者以上の層の利用割合が増えている。

ラウンドワンの展開

ボウリングを中心とした複合施設は他に例が無く、1つの施設内でいろいろな「遊び」が出来る。

料金体系が分かりやすい(各アイテムが20ドル以下で遊べる)

アミューズメントが非常に好調

- ・日本からの最新ゲーム機を導入

- ・クレーンゲームの景品は、米国内の小売店でも購入出来ない限定品を大量提供

1店舗当たり約5億円の設備投資額を見込んでおり、来期に必要な下記3店舗の設備投資額(約15億円)は、手元資金の充当とファイナンス・リースの活用を計画。

	オープン予定時期	店舗名/地域
1	2010年8月	プエンテ ヒルズ モール店 / カリフォルニア州
2	2012年 夏頃	モレノ バレー店 / カリフォルニア州
3	2012年 冬頃	米国3号店 / カリフォルニア州
4	2013年 春頃	米国4号店 / カリフォルニア州



<プエンテヒルズ モール店>

2012年3月期 全社売上と既存店前年比の実績と計画



全社売上 実績と計画 (連結ベース)

(単位未満は切り捨て表示)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	実績	実績	実績	計画	計画	計画
ボウリング	億円	81	83	165	69	88	159	325
アミューズメント	億円	90	98	189	86	89	178	368
カラオケ	億円	19	21	41	19	20	39	81
スポッチャ	億円	22	25	47	18	24	42	90
その他	億円	7	8	16	7	7	14	31
総売上	億円	222	237	459	202	230	435	895



(注) 「下期」及び「通期」の計画欄には、第3四半期の実績を加味せずに、2011年11月10日に発表した計画をそのまま記載しております。

既存店売上前年比 実績と計画 (単体ベース：米国店舗を除く)

(小数第2位を四捨五入)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	実績	実績	実績	計画	計画	計画
ボウリング	%	+6.0	+3.5	+4.7	6.3	3.0	3.4	+0.5
アミューズメント	%	+5.8	+1.1	+3.3	6.3	2.6	3.0	+0.1
カラオケ	%	+22.9	+18.6	+20.6	+9.9	+7.5	+7.9	+14.1
スポッチャ	%	+7.9	+8.8	+8.4	+3.3	2.4	2.7	+2.9
その他	%	+0.4	+4.0	+2.2	3.0	+0.7	+0.6	+1.5
総売上	%	+7.2	+4.2	+5.7	3.9	1.9	2.2	+1.7



(注) 「下期」及び「通期」の計画欄には、第3四半期の実績を加味せずに、2011年11月10日に発表した計画をそのまま記載しております。

店舗の状況



出退店の推移

	出店数	退店数	期末 総店舗数
～2004年3月期	45	4	41
2005年3月期	6	0	47
2006年3月期	11	0	58
2007年3月期	15	0	73
2008年3月期	11	1	83
2009年3月期	13	2	94
2010年3月期	11	0	105
2011年3月期	4	0	109
2012年3月期	1	0	110
2013年3月期(予定)	6	0	116

期末総店舗数の内訳				
日本				米国
スタンダード		スタジアム		スタンダード
繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド	ロードサイド
7	34	-	-	-
8	34	-	5	-
8	34	-	16	-
8	34	-	31	-
8	34	-	41	-
7	45	-	42	-
7	55	-	43	-
8	57	-	43	1
8	58	-	43	1
9	58	1	44	4

2008年3月期に退店した『富士店』は、翌2009年3月期に完全に建て替えを行い、新築リニューアルオープンしております。

エリア別店舗数(2012年1月末現在)

出店エリア	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	アメリカ	合計
店舗数	10	4	32	14	30	8	11	1	110
シェア	9.1%	3.6%	29.1%	12.7%	27.3%	7.3%	10.0%	0.9%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

弊社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

【PC用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp> もしくは

【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

- ・ docomo <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ Soft Bank <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ au <http://www.round1.co.jp/mobile/>



携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 (072)224-5115